

令和7年度 公益社団法人尼崎人権啓発協会

通常総会記念講演会

阪神・淡路大震災から

30年

～忘れない「1.17」伝える

1995年1月17日、午前5時46分
道路の高架はもろくも崩れ落ち、
交通網は寸断。
人が家を失い、避難生活を強いられ、
地震災害に打ちのめされながらも、
地元紙の写真記者として現場を記録し
これまで紙面で報道してきた。
あの時、何を伝え、
伝えられなかったのか、

写真提供：神戸市

日時：2025(令和7)年**5月28日(水)**

午後2時10分～3時30分

※総会終了後の開催となります。

場所：尼崎市立中央北生涯学習プラザ 小ホール

(尼崎市東難波町2丁目14-1)

参加費：無料

申込み：先着 30人 ※手話通訳あり

テーマ：震災の教訓を語り継ぐ

ー震災報道、地元紙の役目とはー

講師：元・神戸新聞社写真記者 金居光由さん



金居 光由 (かない みつよし)

プロフィール

1981年、神戸新聞社入社。1995年1月17日、阪神・淡路大震災が発生、社屋が被災し全壊。未曾有の被害の中、神戸新聞の震災報道が始まった。2010年1月、震災15年にフジテレビが制作したTV映画「神戸新聞の7日間」に出演。カメラマン役(萩原聖人)の一人として登場。2020年2月、震災25年にNHKドキュメンタリー番組「目撃にっぽん／被災地の新聞記者」として出演。2025年現在、神戸新聞見学担当スタッフ、デイリースポーツ契約カメラマン、神戸市教育委員会学校防災アドバイザー。校外学習の小・中学生や修学旅行生に震災当時の新聞の役割や防災・減災の大切さを『語り部』として案内している。

阪神・淡路大震災 30年の取り組み

1995.1.17 から 30年、あらためて知る阪神・淡路大震災。命の大切さ、助け合う人の温かさ、今、わたしたちが生活できていることは、当たり前ではないということ、震災を経験した人にしかわからないことが多くある、震災の経験を「伝え、聞き、語り合い、つないでいきたい」、精一杯生きること考える機会になればと思い、震災から30年の特別講演会を行います。

申込み・問い合わせ先 | 公益社団法人 尼崎人権啓発協会 尼崎市東七松町1丁目23番1号(尼崎市役所内)

TEL:06-6489-6815 FAX:06-6489-6818

裏面の用紙をご利用ください

(公社) 尼崎人権啓発協会通常総会記念講演会

日 時：2025（令和7）年5月28日（水）


場 所：尼崎市立中央北生涯学習プラザ3階小ホール
（〒660-0892 尼崎市東難波町2丁目14-1）



時 間：午後2時10分～3時30分 ※総会終了後の開始となります。

申込方法 電話・FAXでお申込みください。

 電 話 ・06-6489-6815まで、下記のフォームと同項目をお伝えください。

 F A X ・下記の必要事項に記入後、FAXでお申込みください。

ファックス番号 06 -6489 -6818

FAX

(公社) 尼崎人権啓発協会 宛て

申し込み日 年 月 日

代 表 者 情 報	フリガナ お 名 前		
	ご連絡先 電話番号		FAX 番号 — —
	フリガナ 参加者 お名前		
	フリガナ 参加者 お名前		
	フリガナ 参加者 お名前		
下記項目は、返信用のため、記入しないでください。			
		上記の内容で受付しました。	
		申し訳ありませんが、定員に達したため、受付を終了しました。	

※中止の連絡の際は、代表者の方にご連絡いたします。
※当日、災害または、警報等が出た場合、中止する場合がございます。
※ご記入頂きました個人情報については、実施する事業のために使用し、他の目的には使用いたしません。